

いつも、  
池田銀行をご利用いただきまして、  
ありがとうございます。



頭取 服部 盛隆

第87期中間期のご報告を申し上げます。

- ①預金は、個人預金を中心に年間354億円(年率1.6%)増加しました。貸出金も事業性貸出を中心に、年間962億円(年率6.3%)増加しました。  
預かり資産残高は、個人年金保険等を中心に増加し、3,488億円となりました。
- ②コア業務純益は、諸施策の取組みの結果、予想比+8億円の73億円となりました。しかしながら、サブプライムローン問題の深刻化に伴う米国発の金融危機に端を発した金融市場の混乱により、保有有価証券の評価が下落した為、従来から採用している最も厳格な30%減損ルールに則り、53億円の保有有価証券の減損処理を行いました。  
その結果、誠に遺憾ながら15億円の中間純損失を計上することとなりました。
- ③減損処理後も健全性の指標である自己資本比率は、9.3%と国内基準を十分上回っております。  
また、不良債権比率は、2.5%に低下し、資産の健全化が進んでおります。

また、本年10月、第9回目の「ビジネスマッチングフェア」を開催し、「ニュービジネス助成金」の授賞式を行いました。平成15年の第1回募集以来、応募累計は878件、表彰企業は92社、助成金の総額は6,000万円を超える規模となりました。「関西のビジネスを、強く、新しく」を合言葉に、より一層“地域起こし”の応援をしております。

これからも、創業のこころ“親切で新しい”を大切に、地域の皆さまのお役に立ちますよう努めてまいります。引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月